

変化はあなたの心からはじまります。 すべての人に愛を。

私たちによく似たチベットの人たちがいま死んでいます。

彼らはいままではこれも自分の業の深さだと信じ、結構遠慮がちに住んでいました。富士山の上くらいの高さのその土地はもともと彼らの土地でしたが、いまは別の巨大な国と一緒になってしまうたからです。

最近彼らのなかで若者たちが昔の旗をふって、声をからしながら叫んでしまいました。それから毎日、いまま夜が怖くて眠れない日々がその場所では続いています。夜になると捕まえられて、どこかに連れて行かれるからです。

彼らの王国がなくなって、もう五十年も経っています。

でも彼らには国よりもっと大切な人がいます。それがダライ・ラマです。ダライ・ラマは観音菩薩の代わりに彼らの世界にやってきた人です。

いつも他者のために生きることが人間の生きる意味であると教えています。

いまは遠く引き離されていますが、いつもチベットの人たちはダライ・ラマを信じています。チベットで続いているこの苦しみはいつ終わるのでしょうか。彼らはいままで前世の業である罰を受けなければいけないのでしょうか。

きつといつかはチベットの人々がいた痕跡は全部なくなってしまうんでしょうね。でも来世を信じるチベットの人々にとってそんな未来は悲しすぎます。

私たちの日本はチベットと同じ仏教国で、世界有数の経済大国です。そんな私たち日本人にチベットの人たちは期待してくれています。

でも日本は戦争犯罪国として中国にいつも責められてばかりです。だからいまままで他の国と同じようにずっとチベットのことを傍観してきたんです。

でもこの先も、罪のない人が更にどんどん死ぬのを知らないふりをするのでしょうか。もうチベットの人々に苦しみが続くのを終わらせてあげたくないですか。

いま日本にほんとうの平和貢献とは何かが問われているのです。

チベットの危機に関する声

チベット危機に関する平和的の全面解決を求める日本政府に対する公開書簡

<http://www.tibetsupport.net/>

※署名のお申し込みは窓口までお問い合わせください。

【本署名キャンペーンの趣旨】

本署名キャンペーンは50年以上も国際社会に無視されてきたチベット問題の平和的の全面解決を求め、言論の自由が保証されている日本国民が私たちのためにある日本政府に対して、私たち個人個人の良識ある声を届けたいというものです。私たちは日本政府に対する公開書簡で、以下の2点を日本政府に要求しています。

- ① 日本政府は諸外国と協力して、中国政府による人権蹂躪や文明の破壊活動を即刻中止させなければならない。
- ② 日本政府はダライ・ラマ法王と胡錦濤国家主席の無条件での対話の場を設置するよう努力しなければならない。

なおこの公開書簡は、中国政府を批判するものでも、オリンピックに反対するものでも、チベット独立を支援するものではありません。

【賛同者募集中!】 チベットの人々に私たち日本人の声を伝えてあげようではありませんか。